

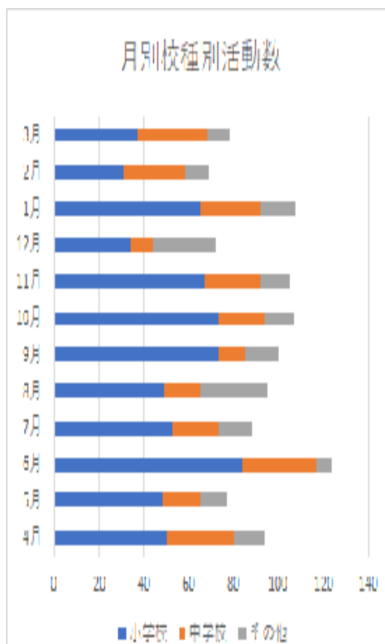
INFO@g.shunan.ed.jp

周南市教育研究センターHP

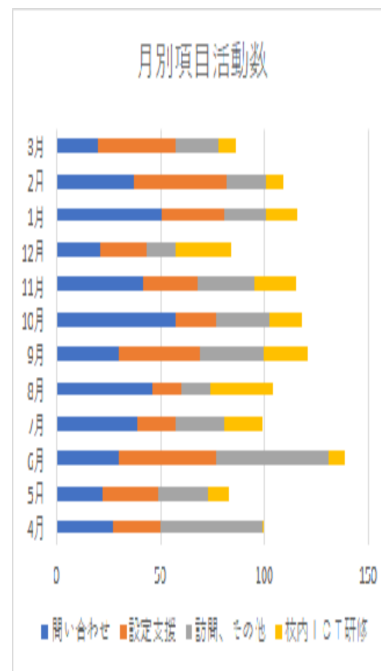


2022年度活動状況

<校種別> 1,117件
小学校664、中学校269、
その他184



<内容別> 1,274件



○電話等による問い合わせ等 422

知っておきたいICT

<認証エラー問い合わせ>
① 本年度は、転入者の指導者用アカウントを配付すること、② 転出者のアカウントを5月末まで保護することから、iPadの初期化を「任意」としつつも実施

された学校があります。これは、動作状況の改善が見込まれることや、慌ただしいこの時期に、データ保存などから開放されることが理由です。さて、初期化の後の「i-フィルター認証ができない」との問い合わせがありまし

- 設定支援
パスワードエラーによる初期化、備品PC設定、アカウント登録支援等 348
- 訪問、その他
端末損傷交換等 323
- 研修他
校内研修(ICT学習利用に関すること、T-net)、教育研究センター主催研修 181

新年度のスタートに向けて

<校務PCと学習用端末等の使い分け>
まず、学校には3種類のPC類があります。
○校務PC
・教室等への持ち込みはできません
・本体起動パスワードの管理、更新をしてください。
<方法>
旧パスワードでスタート画面になった後、「Ctrl」、「Alt」、「Del」を同時に押します。(起動操作と同じです。)
画面に表示される「バ

た。この場合、モビコネクトを利用して「i-フィルター」を再送信してみてください。また小学校には、アプリ送信を受け付けられないものがあります。これは端末番号をお知らせください。

スワード変更」を選び、記号、英数文字から成るパスワードを設定し、管理職への申告をしてください。(厳重管理を)
・クラウドは「shunan.ed.jp」でOneDriveを使用します。(本紙46号を参照、タイトル横のQRコードからINFO@へ)

○学習用端末
学習用端末のiPadは、「g.shunan.ed.jp」を使い、学習用、教員研修用に使い分けます。

一般的な使い方(学習システムのひとつ)として、前号となる本紙47号の指標をめざしてください。
なお、「ミライシード」の「ドリルパーク」や「オクリンク」を使って、資料提示、回収することとは並行使用となります。場面により使い分けされてもよいでしょう。

なお、「ミライシード」は本年度で3年目となりますが、単年度契約です。今後、学習システム部分とドリル部分についての検討をしていくようになります。

○備品PC類
校務PCと学習用端末の使用環境の補完のため、例えば購入したDVD教材を見せたい等の場合、備

品PC類を用意することができます。現在、各校で「オンライン配信」を使用目的に用意されています。この備品PC類は、日常的に使う特別教室等に設置している場合を除き、そのままならないように管理することや、タイプにより、ウィルス対策ソフトを別途用意することとしています。効果的に使用されているか、再評価ください。

<指導者用アカウント>
本年度、転出される先生の指導者用アカウントは5月末まで保護します。転入先では新しいアカウントが発行されます。この指導者用アカウントは、事務職員以外の全配付となります。事務職員は事務アカウントを継続的に使用します。また、2校兼務の初任研担当教員にも、それぞれの学校へアカウントとiPadを配付します。

Googleドキュメント等を使い、代表PCからそこにアクセスしたり、初任者に配信して、授業の振り返りに使うためです。他への流用はできません。

周南市教育委員会
周南市教育研究センター
ICT教育推進室
ICT教育アドバイザー